

令和5年度 第2回蕨市総合教育会議

令和6年度  
教育事業の概要(案)



令和6年2月6日  
蕨市教育委員会



# ○蕨市教育大綱（抜粋）

## Ⅱ 蕨市の教育の目指す姿

### 基本理念

生きる力を育み  
ともに学び  
未来を拓く蕨の教育

### 基本方針

- I 確かな学力と豊かな人間性をもち  
たくましく生きる子供の育成
- II 交流の輪を広げる  
生涯を通じた学びの支援

### 基本目標

- ① 学びあい高めあう学校教育の充実
- ② 生涯学習を支える社会教育の充実
- ③ どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実



# 学びあい高めあう学校教育の充実

## 1 少人数学級推進事業（35人程度学級）

・予算額：669万8,000円

・事業概要：

国では、小学1～5年生において35人学級を実施しているが、蕨市では市独自に6年生においても35人程度学級を行っている。

これにより、少人数での学習指導・生活指導を行い、低学年からの円滑な引き継ぎを行うとともに、一人一人の児童へのきめ細かな支援の充実を図る。

（担当＝学校教育課）



▲35人程度学級の実施による個に応じた指導

## 2 教育センターの効果的な運用

・予算額：2,173万9,000円（ICT支援員分を除く）

・事業概要：

これまでの教育相談、環境改善のための支援、日々草学級・日本語特別支援教室での支援、教職員研修・学校コーディネート事業のほか、GIGAスクール構想に基づくICTを効果的に活用するための教職員研修について一層の充実を図る。

ICT支援員を引き続き配置（次ページ参照）し、教職員のICT活用指導力を向上させ、児童・生徒の情報活用能力を育成するための研修をさらに充実させていくほか、クラウド上に優れた教育実践に係る資料等を集約し、教職員が必要なときに共有し、個別に研修できる環境の充実を図る。

（担当＝学校教育課）



▲ICTを効果的に活用するための教職員研修

### 3 学校における ICT の効果的な活用（ICT 支援員の配置）

・予算額：825万円

・事業概要：

令和2年の12月末日に、全児童・生徒への1人1台のPC端末等の整備を完了し、3年が経過した。教職員が授業等においてICTを効果的に活用できるよう、ICT支援員等による、専門的な研修を実施しているほか、蕨市の教職員ポータルサイト上で、マニュアルや研修動画、ICTの効果的な活用事例等を共有し、教職員がいつでも自分のペースで研修を進められる体制を整えることで、研修の充実を図っている。

令和6年度も引き続きICT支援員を配置し、授業や校務、教職員研修等、学校における教職員のICTの活用支援をとおして、全ての学習の基盤となる資質・能力である児童・生徒の「情報活用能力」の育成を図っていく。（担当＝学校教育課）



▲ICT支援員による教職員研修

### 4 ALT や英語4技能テストを活用した外国語教育

・予算額：4,821万5,000円

・事業概要：

小学校における外国語及び外国語活動の授業や、中学校における外国語の授業のより一層の充実を図るため、全小・中学校へのALT1名の配置を継続する。また、中学校2年生及び3年生には、引き続き英語4技能テストを実施し、教職員研修、GIGAスクール端末を活用した外国語学習を組み合わせた生徒の外国語活用能力の一層の向上を図っていく。

（担当＝学校教育課）



▲英語4技能テストを活用した外国語活用能力の向上

## 5 通級指導教室の増室（発達障害・情緒障害通級指導教室）

- ・事業概要：

通常の学級において「感情や行動のコントロールがうまくできない」「特定のものに強いこだわりがある」などの理由で学習や集団活動を苦手とする児童生徒に対し、よりよい学校生活が送れるように支援を行う「発達障害・情緒障害通級指導教室」を、入室希望者の増加に伴い、令和6年度は中央東小学校（と第二中学校）に新たに増室する。このことにより、児童生徒の指導時数を確保し、適切な支援を行う。

（中学校通級では、第二中学校を拠点として、支援を必要とする他中学校の生徒にも、担当教員が指導に行くことで、適切な指導を行っていく。）

（担当＝学校教育課）

## 6 教員業務支援員の配置

- ・予算額：755万3,000円

- ・事業概要：

教員業務支援員を継続して配置し、学校における働き方改革の柱の一つとして位置付け、各種取組とともに効果的な活用を進めていく。同支援員が教員の業務の一部を負担することにより、教職員が児童・生徒と向き合う時間をより多く確保することができる。これにより、教職員の負担軽減及び多忙感の解消、時間外勤務時間の一定の削減を進め、働き方改革を促進していく。



▲校内掲示をしている様子

（担当＝学校教育課）

## 7 学校 ICT 環境の整備

・予算額：1,454万1,000円

・事業概要：

学校における児童生徒のICT活用を推進し、新しい時代の学びに適した環境整備を目的に、パソコン教室のリニューアルを進める。

令和6年度は第二中学校内に、STEAM教育やアクティブ・ラーニングなど、ICTを活用しながら、協働的な学びを創出し、子供たちの創造性を伸ばす拠点となる場所として、(仮称)DXルームを整備する。

(担当＝教育総務課・学校教育課)

※STEAM教育＝各教科での学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくための教科横断的な教育を指すもので、下記5つの領域の学問の頭文字を取った造語です。

科学(Science) 技術(Technology) 工学(Engineering) 芸術(Arts) 数学(Mathematics)

## 8 学校トイレの洋式化

・予算額：3,760万5,000円

・事業概要：

小・中学校の教育環境の改善を目的に、校舎のトイレ改修を計画的に進めていく。

令和6年度は、次年度以降の改修工事に向けて、東小学校、南小学校、中央小学校の設計委託を行う予定。

(担当＝教育総務課)

## 9 学校体育館エアコンの整備

・予算額：1億9,480万円

・事業概要：

近年の猛暑対策として、学校における教育環境の向上とともに、避難所としての機能を高めるために学校体育館に空調設備を設置するもので、令和3年度から順次設置工事を進めている。

令和6年度は、西小学校、中央東小学校、塚越小学校で設置工事を行う予定。

(担当＝教育総務課)

## 10 デジタル教材整備・活用事業

・予算額：819万8,000円

・事業概要：

児童生徒一人一人に応じた学びを提供するため、小・中学校において、ICTを活用したデジタル教材を整備する。これにより、児童生徒一人一人の学習状況や学習進度に合った出題による知識・技能の効果的習得・定着を図るとともに、児童生徒の習熟の度合いを含めた学習状況の把握による指導の個別最適化を図る。

また、不登校児童生徒への学びの保障や、プリントの作成・配布・回収・採点等に係る教職員の業務の軽減等、学校におけるデジタル教材の効果的な活用を促進する。

(担当＝学校教育課)

## 11 水泳指導民間委託

・予算額：906万7,000円

・事業概要：

小・中学校の水泳授業では天候の影響を受け、計画通りに実施できないことや、近年の猛暑に対する安全確保が課題となっている。また、プール施設の老朽化も進んでいるため、児童生徒の安全を確保し、年間を通して計画的に授業実施ができる、民間施設を活用した民間委託方式での水泳授業を小学校2校に拡充して検証実施する。令和5・6年度を取組を踏まえ、今後の学校プール施設の方針について検討していく。

(担当＝学校教育課)



## 1 2 コミュニティ・スクール事業の推進

・ 予 算 額 : 35万円

・ 事業概要 :

学校経営・運営や学校課題に対して、広く保護者・地域住民の皆さんが参画できるよう、令和元年度より東小学校、塚越小学校、東中学校の3学校区を1地区としたコミュニティ・スクールを、また令和5年度より第二中学校、西小学校、北小学校を1地区としたコミュニティ・スクールを設置している。令和6年度は、第一中学校区の南小学校、第一中学校の2校を1地区として、中央小学校、中央東小学校をそれぞれ1地区として設置する。これにより、市内全小中学校でコミュニティ・スクールが設置され、「地域とともにある学校づくり」を推進していく。

(担当=学校教育課)



▲学校運営協議会の様子

## 1 3 学校給食費の負担軽減

・ 予 算 額 : 5,322万6千円

・ 事業概要 :

食材費高騰が続くなかでも、学校給食費の値上げを行うことなく学校給食の質と量を確保し、児童・生徒に提供。あわせて、第2子以降の学校給食費を全額補助し、実質無償化にすることで、経済的負担の軽減を図る。

(担当=学校給食センター)



# 生涯学習を支える社会教育の充実

## 1 公民館への学習用無線LANの整備

- ・ 予 算 額 : 96万2,000円 (公民館費)
- ・ 事業概要 :

公民館におけるインターネットを使用した学習環境の充実を目的に、全公民館に学習用無線LANを整備。各館のロビー等を中心に機器を設置するほか、各部屋で行う利用団体の活動にも使用できるよう、館によっては貸出用の機器も導入する。また、併設の市民体育館アリーナにも無線LANを整備する(上記予算額の外に市民体育館費として6万4,000円)。

(担当=公民館・生涯学習スポーツ課)

## 2 読書通帳の作成

- ・ 予 算 額 : 39万9,300円
- ・ 事業概要 :

未就学児を対象に、ブックスタート事業との相乗効果により乳幼児期の読み聞かせを後押しすることを目的に、読書通帳を作成する。4か月児健診時に実施しているブックスタート事業に合わせて保健センターで交付するほか、希望者には図書館カウンターでも配付する。また、当該事業の推進策として、手帳の記載欄を全て記入いただいた方を対象に、記念品を贈呈することを検討する。

(担当=図書館)

## 3 第4次蕨市生涯学習推進計画の策定

- ・ 予 算 額 : 852万5,000円 (委託料)
- ・ 事業概要 :

「第3次蕨市生涯学習推進計画(平成27~36年度)」及び「改訂第3次蕨市生涯学習推進計画(令和2~6年度)」の計画期間終了により、「第4次蕨市生涯学習推進計画」を策定する。

この計画は、次年度より展開される新たな「将来ビジョン」における“生涯学習に関する”施策を具体化するための個別計画で、策定に際しては、「蕨市教育振興基本計画」と整合を図るとともに、「埼玉県生涯学習推進指針」等を参酌する。

(担当=生涯学習スポーツ課)



▲改訂第3次蕨市生涯学習推進計画(令和2年3月発行)

## 4 蕨市自然体験活動事業

- ・ 予 算 額：185万（委託料）
- ・ 事業概要：

自然と触れ合う事で、持続可能な社会の実現を考えるきっかけとし、生きる力や自然を大切にすることを育むとともに、集団生活による異年齢間交流により生活環境の違いや考え方など相互理解しながら自主性・協調性を育むなど、青少年の健全育成に必要とされる非認知能力の向上を目指す。

（担当＝生涯学習スポーツ課）

## 5 音楽によるまちづくり

- ・ 予 算 額：405万円
- ・ 事業概要：

音楽を中心とした蕨市の芸術文化の振興と、その推進を図るとともに、音楽により蕨のまちの魅力を発信することで賑わいを創出し、蕨市のイメージアップを図ることを目的とする。令和6年度も引き続き、「蕨市民音楽祭の開催」をはじめ、「音楽関連情報の発信」、「小・中学校への音楽家の派遣」を予定。

（担当＝生涯学習スポーツ課）



▲蕨市民音楽祭（令和5年8月27日開催）  
第6回昭和歌謡紅白歌合戦



# どこでもだれもが親しめる 生涯スポーツの充実

## 1 各種イベントやスポーツ教室等の開催

- ・ 予 算 額 : 343万3,000円
- ・ 事業概要 :  
毎年恒例となっている市民ロードレース大会や市民水泳大会のほか、体力テストや少年スポーツ教室、民間温水プールの借り上げ事業等を実施し、健康・体力づくりに親しめる機会を提供する。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲令和5年度 ロードレース大会

## 2 女子サッカー応援事業

- ・ 予 算 額 : 177万円
- ・ 事業概要 :  
女子サッカー応援の一環として、令和5年に「サポータータウンに関する協定」を締結した(株)エルフェンススポーツクラブが運営する、ちふれASエルフェン埼玉との交流事業を実施するほか、女子サッカー教室を継続する。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲令和5年度 女子サッカー教室